

二〇二三年度B方式入学試験問題 一 時限目 国 語

二月六日

注意事項

- 一、試験開始の合図があるまで問題冊子を開かないこと。
- 二、監督者の指示に従い、別紙解答用紙の所定欄に氏名、受験番号を記入すること。さらに受験番号の下のマーク欄に受験番号をマークすること。
- 三、解答はすべて、解答用紙の解答欄にマークすること。
- 四、試験時間は六十分、問題は16ページ。

マーク記入上の注意

- (1) 解答欄にマークするときは、HBの黒鉛筆でつぎの正しい例のように濃く正確にぬりつぶすこと。解答は、該当の解答番号の解答欄にマークすること。例えば、解答番号 10 の問に対して、
- (2) と解答する場合は

10
①
●
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩

のようにマークすること。

悪い例

5	4	3	2	1
①	①	①	①	①
●	①	②	②	②
●	③	③	③	③
④	④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
⑨	⑨	⑨	⑨	⑨
⑩	⑩	⑩	⑩	⑩

- 印でかこむ。
- 中身をぬりつぶしていない。
- レ印をつける。
- 一印をつける。
- 一欄に二つ以上マークする。

このような記入をしてはいけない。

- (3) 一度記入したマークを訂正する場合は、消しゴムで完全に消してから記入しなおすこと。
- | |
|---|
| 1 |
| ① |
| ● |
| ④ |
| ⑤ |
| ⑨ |
| ⑩ |
- のように×印をしても消したことになる。
- (4) 解答用紙を折りまげたり、破ったり、また汚したりしないこと。

第一問 左は、亀山郁夫『人生百年の教養』の一節である（ただし、一部改変した）。これを読んで、後の問いに答えよ。

何やら英語に対する恨みつらみを書いてしまいました。かなりバランスを失っているかもしれませんが。ただ日本の人々の英語に対する^⑦ケイ倒が、自らの文化を自らの手で根絶やしにしていくかのような印象を拭えないのです。そのことに強い危機感を覚えていきます。

しかし、人文学研究は異なります。どこの地域に生きているにせよ、人文学の研究のコアをなしているのは、多言語多文化主義です。人文学者は、地域に関わる情報を、基本的には a で入手します。その意味において、偏狭な英語一元論と一線を画しているのです。

〔中略〕

もっとも私の考える「教養人」という観点から見た場合、外国語を学ぶことは、それほど大きなことではないような気がしています。真の教養人は、外国語の学習とは本質的に関わりがないのです。その理由についてはいずれ述べることになるでしょう。^A
ドストエフスキーを翻訳で読み、^Bプロパーの研究者には及ばない素晴らしい発想で評論を書いている人を見てほしいと思います。日本のドストエフスキー研究を活性化したのは、ロシア文学者というより、明治以降、今日にいたるまで日本の近代文学をリードしてきた作家たちであり（森鷗外にドストエフスキーの中・短編翻訳があることをご存じでしょうか）、かつ批評家の小林秀雄やキリスト教思想家の森有正らの存在でした。しかも現代の批評家たちには、DeepLという強力な助っ人が現れています。

かつて、十八、十九世紀のロシアの社交界で用いられていた共通語はフランス語でした。トルストイの『C1』の

ページをざっと繰ってみるだけでも一目リョウ然です。

ドストエフスキーは英語こそできなかったものの、フランス語に堪能でした。原語でもってヨーロッパ文化の精華を吸収することができたのです（ドイツ語はあまり得意ではなかったようです）。バルザックやルソーを原語で読み、自力で教養を高めていきました。

ところが、ドストエフスキーは、幼いころから外国語の教育を受けることがはらむ問題性にも注意を払っていました。たとえば、『C2』では、長いヨーロッパ生活のなかで郷里を失ったデラシネ（根なし草）のごとき人間の悲惨さを描いていますが、彼らに共通して現れる特徴が、b の崩壊です。

ドストエフスキー自身は、幼年期からの豊かな読書を通して十分な国語力（母語）を身につけ、フランス語を学び、ヨーロッパ文化を吸収しましたから、そうした悲惨さを味わうことはなかったはずです。他方、彼はデラシネのごとくヨーロッパを放浪する貴族たちを見守りながら、母語の能力を保つことがどれだけ大切かということ、作家としてはつきり認識していました。そのことを認識したうえで、外国語を学ぶ根本的な意義に立ち返ってみましょう。

フランス語にしる、中国語にしる、ドイツ語にしる、ロシア語にしる、それを学びたいと思う動機は人それぞれです。フランス語、ドイツ語を学ぼうとする人は、圧倒的にそれぞれの地域文化に対する強い関心があります。中国語は、基本的に将来ビジネスに役に立ちそうだという現実的な判断から学びはじめます。私の場合は、基本的には、ドストエフスキーを原語で読みたいというのが根本の動機としてありましたが、そういう類の学生は、今の時代には少ないでしょう。

ところが、英語の学びの場合、そうした地域的な関心から始まることはありません。そもそも十代の初めから学びが始まるため、動機付けなど考える必要がないのです。したがってアメリカやイギリスの文化に魅かれてというより、英語が世界で通用するから勉強するという学生がほとんどです。私が勤務する名古屋外国語大学の場合、いわゆるエアライン、ホテル、観光業に就職したいという志願者が一定数を占めますが、英語の勉強のみで四年間が終わってしまうのはいかにも寂しく、学生たちにこう呼びかけています。

「君たちは英語を学ぶことによって確実に何かを失っている。英語だけで勉強をすませようと思うな。せつかく英語を勉強するのだったら、その英語を役立たせるためにも、その二倍の時間をかけて英語以外のことをしなさい」

二倍の勉強——日本文学、哲学、思想、あるいは世界の文化芸術に関心の手を伸ばすことで、はるかに知的で豊かな人生を生きた可能性が高いと。

ごく当たり前のアドバイスです。

先ほども述べましたが、教養とは、まさに c の向こう側にある可能性の領域なのです。そして教養とは、時代や地域にかかわらず、世界のありとあらゆるところにある文化の価値を見直すことでもあるのです。

いえ、文化の価値の見直しだけに限りません。国際政治の駆け引きを考えるなかで、外国語の一定の学び、一定の知識は、相手のメンタリティを考えるうえで非常に重要な要素となります。英語の情報リソースだけに頼り、デモクラシーがすべてと考える人々にとって、ロシアの指導者たちの主張はほとんど理解できません。彼らには、彼らが長く呪縛されている「ナショナルアイデンティティ」というものがある。極論を恐れずに言えば、ロシアとアメリカないしNATOの対立は、ロシア語と英語がそれぞれ培っている精神性の違いでもあるのです。さらに言うなら、ロシアは本音の部分で、デモクラシー以上に大切なものがあると感じています。それは、彼らが歴史的に経験してきたトラウマであり、怨念です。そのことをしっかりと踏まえたうえで発言なり批判なりが、真の教養人としてあるべき姿だと思えます。たとえ国際政治が、教養人の発想とはまるで別の力学で動いていくことになるとしても……。

つまり教養の基盤というのは、世界中の国々のなかにある。教養は多言語的なのだということを、忘れてはなりません。私はかつて次のように発言したことがあります。

「私が主張したいのは、人文学は基本的に多文化多言語性を志向しているということ、そして、人文学は、対象とする地域、使用する言語に大きく規定される側面があるということだ。国際的なレベルでの発信力のみが強調されるため、英語を介在させない人文学の研究が総じて退^⑦チヨウを余儀なくされるのは、必然である。英語による発信の重要性と、非英語圏の文化をめぐる

研究の重要性はおのずから異なる。世界の多様性をめぐる研究が、英語のみを媒介言語とし、非英語圏の言語の運用能力が不当に蔑ろないがしにされるならば、人文学全体は引き返すことのできない奈落に沈んでいくことだろう」（講演「人生百年時代——生きる力」より）

ずいぶん勇ましい発言をしたものですが、じつはこれは、今から五年前の発言なのです。今、この内容を改めて、そして同じ語調の強さで述べることは困難かもしれません。状況は変化し続けており、私の考えも少しずつ変わりつつあるからです。英語以外の学びについて、ここまで進化した自動翻訳ツールで十分に対応できるものを、今、改めて学び直す必要があるのか？この問いに、答えを出すことは、不可避であり不可欠なのですが、なかなか自信を持って「正当」を見出すみいだことができていません。

しかし確実に言えることがあります。世界文化の真の開花の季節は、かならずや d の再生とともに訪れてくるだろうということ。二〇一五年にモスクワを訪れた際、私は、『カラマゾフの兄弟』の斬新なアダプテーション（脚色）^Eをモスクワ芸術座で観ました。物語の主人公である二十歳の青年アレクセイ・カラマゾフを、五十代の女性が演じるという破天荒な演出です。その芝居が芝居として成立するのは、母語と母語の文化的土壌にたいする絶対的な信頼があるからです。

今、このお芝居を、日本語訳の舞台で観たいとは思いません。

コロナ禍のなかにあるとはいえ、そして反グローバル化の流れが強まりつつあるとはいえ、世界経済がグローバルなレベルで機能しつづけていくことを否定することはできません。他方、究極の勝者を目指す熾烈しな戦いのなかで、グローバル化は国民国家の理念の復活を促しましたが、この傾向は、ますます強化されていくことでしょう。どこの国の為政者たちも、強固なナショナリズムの涵養かんを国際戦略の中心に位置づけています。

世界の政治を見ながら、面白いな、と思うことがあります。英語圏以外の国の首脳は、けっして母語以外では語らないということです。世界の人々と国民の前で、その発言の一語一語に対し完全に責任を持つためには、誤解を与えかねない非母語での発言は許されないといても過言ではありません。

より[⊕]ヒ近な例でいうと、映画は基本的に e で作られています。全部英語の台詞による日本映画は存在しません。かつてスピルバーグ監督の『シンドラーのリスト』を観たときに強い違和感をもったのは、やはりそこで使用されている言語が原因でした。ほとんどの台詞が英語によって語られるユダヤ人ゲッターの物語に、どうしてもリアリティを認めることができなかったのです。むしろ音をミュートにして、日本語の字幕のみで観るという態度のほうがどれほどよかったです。思うに、私たちが経験できる他者のリアリティとしては、もはや身体のリアリティ以上に声のリアリティが重みを増しています。ロシアの優れた映画監督アレクサンドル・ソクーロフがフランス人作家フローベール原作の『ボヴァリー夫人』を映画化し（一九八九年）、すべての台詞がロシア語で話されることに若干の違和感を覚えました。しかし、そこに新しい次元の世界性をかいま見る思いでした。ソクーロフもおそらくはそのあたりを意識したのか、映画のタイトルを『ボヴァリー夫人』とはせず、『救い、守りたまえ』（Спаси и сохрани）に変えていたのです。原作をお読みになった方には、必見の『ボヴァリー夫人』だと思います。

人間は言語を介して存在する、という前提に立つなら、まさにゲッターや強制収容所における実存状況は、そこで語られる言語と不[⊕]ソク不離の[⊕]関係にあります。日本で、日本語でゲッターや強制収容所をめぐる映画を撮ることはできません。演劇というジャンルの可能性が浮上するのは、まさにこの^F地点です。

文化はそれぞれの国の言語と密接に結びついています。そしてそれぞれの文化の積み重ねによって築き上げられた教養というものがあります。つまり、教養には国籍があるのです。

では、なぜ、英語以外の外国語を学ぶのか、いや、学ぶ必要があるのか、いよいよ肝心の問いに答えなくてはなりません。^G

今やAIのグロテスクとさえいえるような革命的進化のもとで、少なくとも数秒のタイムラグさえ気にしなければ、主要言語間の同時的コミュニケーションが可能となりました。その意味では、外国語を手工業的な方法で学ぶことの意味は、限りなく小さくなっています。どんなに優れた同時通訳でも、AI（たとえば、これまで何度か言及してきたDeepL）の正確さに敵わ

なくなっていくでしょう。仮にロシアの情報を入手したいと思えば、まるごと自動翻訳ソフトにペーストすれば、百行の文章が十秒後には、即席の料理のように目の前に差し出されるはずです。

では、なぜ、苦勞の多い英語以外の外国語の学習に明け暮れるのか。この問いに対し、理想的な答えを出すことのできる外国語の教師は誰一人としていないでしょう。中国語、フランス語、スペイン語、アラビア語など、母語話者が比較的多いグローバル言語であれば、それなりに「市場」はあるはずですが。しかし、それでも英語に代替できるというほどの高いシェアがあるわけではありません。その意味では、まさに負け戦いくななのです。そうとはいえ、世界の人々が、高性能の同時通訳ツールを手に行けることは本当に喜ばしい。それはそれで大いなるユートピアの誕生を意味するものです。

しかしそのときに試されるのが、一人ひとりの、真の意味での文化力です。いえ、真の意味での教養力が試される、と言ってよい。品格をもって語りうる、深い何か。先ほども述べたように、教養は、多言語的多文化的成り立ちをもっていることは疑いようのない事実です。しかしくどいようですが、教養は、本質的に既存の外国語とは無縁なものです。教養において、唯一、結びつきをもつのは、外国語ではなく、母語なのです。自動翻訳による代替がきくようになったとき、復活するのは母語です。それは、偉大な教養の源としての母語であり、間接的な世界言語としての f なのです。母語の「世界開花」を夢見ることのできる時代が来たと思います。

私たちは今、世界のすべての人々が自らアドバンテージとしてもっている母語を通して、安心して芸術と科学の進化をぎりぎりまで追求することができるのです。ということは、母語こそが、この、ポストグローバル時代、そしてポストコロナ時代における一人ひとりの可能性を押し上げる大きな力となる、ということではないでしょうか。

問1 空欄aからfに入る言葉の組み合わせとして、最も適切なものを次から選べ。

1

- | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|-----|---|----|---|-----|---|------|---|-----|---|-----|
| ① | a | 原語 | b | 母語 | c | 外国語 | d | 母語 | e | 母語 | f | 母語 |
| ② | a | 母語 | b | 原語 | c | 母語 | d | ロシア語 | e | 外国語 | f | 外国語 |
| ③ | a | 母語 | b | 母語 | c | 英語 | d | ロシア語 | e | 外国語 | f | 母語 |
| ④ | a | 外国語 | b | 原語 | c | 外国語 | d | ロシア語 | e | 多言語 | f | 外国語 |
| ⑤ | a | 外国語 | b | 母語 | c | 英語 | d | 母語 | e | 母語 | f | 外国語 |

問2 傍線部Aについて、それはなぜか。最も適切なものを次から選べ。

2

- ① ポストコロナ時代の真の教養人には外国語能力だけでなく、強固なナシヨナリズムの涵養が重要だから
- ② 真の教養人であっても、外国語を学習することでデラシネのごとき人間の悲惨さを味わうことがあるから
- ③ 外国語の勉強は前提であって、その二倍の時間をかけて外国語以外の勉強をしなければならないから
- ④ 真の教養人とは外国語が堪能である人ではなく、それぞれの言語と結びつく文化の蓄積を理解する人だから
- ⑤ ポストグローバル時代ではA Iの自動翻訳技術によって手工業的な外国語の学習は必要なくなるから

問3 傍線部Bについて、ここではどういう意味か。最も適切なものを次から選べ。

3

- ① 専門の研究者にはできない
- ② 専門の研究者とは異なる
- ③ 専門の研究者と肩を並べる
- ④ 専門の研究者には劣る
- ⑤ 専門の研究者に敵わない

問4 空欄C1とC2に入る文学作品の組み合わせとして、最も適切なものを次から選べ。

4

C1

C2

- ① 車輪の下 老人と海
- ② 罪と罰 魔の山
- ③ 審判 桜の園
- ④ 戦争と平和 悪霊
- ⑤ 赤と黒 異邦人

問5 傍線部Dについて、それはなぜか。最も適切なものを次から選べ。

5

- ① 英語を勉強してもロシア語によって培われた精神性を把握できないから
- ② 英語を勉強することで日本の文化を自らの手で根絶やしにする恐れがあるから
- ③ 英語を勉強するだけでは教養の基盤を成す文化的土壌を理解できないから
- ④ 英語を勉強してもドストエフスキーを原語で読めるようにならないから
- ⑤ 英語を勉強するだけでは世界の様々な文化の価値の見直しはできないから

問6 傍線部Eについて、どういう意味か。最も適切なものを次から選べ。

6

- ① 一風変わった
- ② 物怖じせず大胆な
- ③ 今まで誰もしなかった
- ④ 豪快で荒々しい
- ⑤ 支離滅裂な

問7 傍線部Fについて、その意味するものは何か。最も適切なものを次から選べ。

7

- ① かつてゲッターや強制収容所が実際に存在したわけではないところ
- ② 他者のリアリティの経験において声のリアリティが重みを失うところ
- ③ 母語によって新しい次元の世界性のリアリティがかいま見られるところ
- ④ 身体のリアリティによって外国語としての声のリアリティが表現されること
- ⑤ ゲッターや強制収容所の実存状況が声のリアリティよりも意味をもつこと

問8 傍線部Gについて、筆者はその理由をどのように考えているか。最も適切なものを次から選べ。

8

- ① 世界で通用するからといって英語の勉強だけに明け暮れていると、品格のない偏狭な精神の人間になるから
- ② それぞれの国の文化には密接に結びつく言語があり、それらを通して多様性をもつ教養を高められるから
- ③ ポストコロナ時代は誰もが母語をアドバンテージとするので、究極の勝者になるために外国語能力が必要だから
- ④ 中国語のように母語話者が比較的多いグローバル言語であれば、英語以外でも将来ビジネスに役立ちそうだから
- ⑤ 世界政治では各国首脳は母語でしか語らないので、国際情勢を正確に理解するためには多言語の知識が必要だから

問9 本文の内容と合致するものとして、最も適切なものを次から選べ。

9

- ① AIの自動翻訳の進化によって外国語の勉強は必要なくなるので、AIの能力を高めることが重要である
- ② 世界文化の真の開花にはロシア語の再生が不可欠であり、英語一辺倒の日本人は教養を高めることができない
- ③ 人文学者は複数の外国語を駆使して情報を手に入れるので、品格のある深い発言や批判をすることができる
- ④ 教養を高めるためには、媒介手段としての外国語を勉強するよりも、母語の能力を高めることが大切である
- ⑤ 英語で作られたユダヤ人の物語の映画はナンセンスだが、フランス人の物語をロシア語で表現することは趣がある

問10 「教養」について、筆者の見解と合致するものとして、最も適切なものを次から選べ。

10

- ① 教養はそれぞれの地域で使用される言語によって培われた文化的土壌に支えられたものである
- ② 現代社会では教養は既存の外国語ではなくAIによって媒介されるので、皆が平等に共有することができる
- ③ 母語によるコミュニケーションを超えたところにある教養の領域が、現代社会ではAIによって縮小している
- ④ 外国語を学ばないとデラシネのようになり、時代や地域を超えて通用する教養は身に付かない
- ⑤ 教養には母語と母語の文化的土壌にたいする絶対的な信頼が必要であり、アメリカとロシアの間では品格のある語りは成立しない

問11 文中の二重傍線部⑦から⑩のカタカナ部分と同じ漢字を用いるものを、次から一つ選べ。

11

⑦ ケイ倒

① 美術の造ケイが深い

② 尊ケイする人物

③ ほほえましい情ケイ

④ ケイ率な発言

⑤ ケイ聴に値する意見

⑧ 一目リヨウ然

① 要リヨウを得ない

② 善リヨウな市民

③ 荒リヨウとした大地

④ 明リヨウな発音

⑤ 快クリヨウ承する

⑨ 退チヨウ

① 時代のチヨウ流

② 美しいチヨウ刻

③ 地震のチヨウ候

④ 制限速度をチヨウ過する

⑤ 農地の拡チヨウ

14

⑧ ヒ近

① 微妙なヒ写体

② ヒ劣な手段

③ ヒ常事態宣言

④ 事故を回ヒする

⑤ 論理のヒ躍

15

⑩ 不ソク不離

① 固い結ソク

② 販売ソク進

③ 質問にソク答する

④ 迷惑な憶ソク

⑤ 定員を充ソクする

第二問

左は、南北朝期の歌人・今川了俊の紀行文『道行きぶり』の一節である（ただし、一部改変した）。京都を出発した了俊が、長門国（今の山口県）に至った場面が描かれている。これを読んで、後の問いに答えよ。

霜月十三日は、住吉の御日にて侍れば、かの一宮に詣で侍るに、本社よりもなほ神々しく、神さびていみじく見えさせ給ふなり。

この御前より西にあたりて、西の海の遙かに見渡されたり。松浦への船どももみな、この近き海の端に、福浦島といふ所にかかり侍るを、今ひとしほ、この御神の御前にて祈り奉りて、また一首よみて奉る歌、

夢のうちに見えけむ神の御そぎぬの袖の羽風はなほぞ吹く

D

この歌の心は、今年九月に、豊後の高崎の城より、宗久という僧、こなたに渡り侍らむとて、船に乗り侍りながら、順風なかりける夜の夢に、齢八十ばかりの翁の、髪・鬚白きが、烏帽子に浄衣着たる一人出でて来て、左の袖をひろげて、「これに乗りて船出せよ」と言ひて、袖をうち振り給ひければ、追風吹きて、こなたに渡りぬと覚えけるを、夢心地に、住吉の大明神よと思ひて覚め侍りけるに、やがてその暁、風よくなりぬとて、船出でて、日のうちに周防の下松といふ所に着きぬと語られしことを、ふと思ひ出でて侍りしほどに、この歌も、その心をかたかけてよめるなり。

この船ども、今日も出で侍らずとて、福浦の島より使来たり。「小舟にて、天川といふ渡をして参りたり」と申ししかば、ここにもかかる渡のありけるよと思ふにも、あはれ星逢の浜のつづきに、この渡のあらましかばと

H

覚え侍る。

[注] 1 住吉の御日——御日は、祭りをを行う日の意味。住吉神社の祭礼日

2 一宮——山口県下関市にある住吉神社

3 本社——大阪市住吉区にある住吉大社。全国二千余りの住吉神社の総本宮。海上安全と歌の神として信仰される

4 宗久——歌人。今川了俊と親しかった

5 浄衣——清浄な衣服。神事、祭礼などに着用する

問1 傍線部Aは陰暦何月を指すか。最も適切なものを次から選べ。

16

① 十月

② 十一月

③ 十二月

④ 一月

⑤ 二月

問2 傍線部Bの現代語訳として、最も適切なものを次から選べ。

17

① みすぼらしく

② しみじみと美しく

③ 大層すばらしく

④ なつかしく

⑤ いまいますく

問3 傍線部Cの現代語訳として、最も適切なものを次から選べ。

18

① いっそう

② 一度だけ

③ 塩一さじ

④ 等しく

⑤ ひとりでに

問4 空欄Dに入る言葉として、最も適切なものを次から選べ。

19

① べし

② べく

③ べかり

④ べけれ

⑤ べき

問5 傍線部Eについて、格助詞「の」の使い方注意した現代語訳として、最も適切なものを次から選べ。

20

① 翁が、髪も髭も白いので、烏帽子に浄衣を着て

② 翁の髪も髭も白いけれど、烏帽子に浄衣を着て

③ 翁に、髪も髭も白くさせて、烏帽子に浄衣を着せて

④ 翁のように、髪も髭も白く、烏帽子に浄衣を着た人が

⑤ 翁で、髪も鬚も白く、烏帽子に浄衣を着た翁が

問6 波線部①と㊦の主格はそれぞれ誰か。その組み合わせとして、最も適切なものを次から選べ。

21

① イ 宗久 ㊦ 宗久

② イ 宗久 ㊧ 翁

③ イ 翁 ㊨ 了俊

④ イ 了俊 ㊩ 宗久

⑤ イ 翁 ㊪ 翁

問7 傍線部Fの現代語訳として、最も適切なものを次から選べ。

22

① やはり

② しだいに

③ そのうち

④ さっそく

⑤ なるほど

問8 傍線部Gの文法的説明として、最も適切なものを次から選べ。

23

① ラ行変格活用の動詞「あり」の未然形 + 反実仮定の助動詞「まし」の未然形

② ラ行変格活用の動詞「あり」の未然形 + 反実仮定の助動詞「まし」の連用形

③ ラ行変格活用の動詞「ある」の連用形 + 希望の助動詞「まほし」の已然形

④ ラ行四段活用の動詞「ある」の連用形 + 打消推量の助動詞「まし」の未然形

⑤ ラ行四段活用の動詞「ある」の未然形 + 打消推量の助動詞「まし」の已然形

問9 空欄Hに入る言葉として、最も適切なものを次から選べ。

24

① こそ

② は

③ や

④ ぞ

⑤ な

問10 文中の和歌の意味として、最も適切なものを次から選べ。

25

① 夢のなかに姿を現したという神の衣の袖からの風が、さらに吹いてほしいものだ

② 夢のなかに神が姿を現しそうだというのに、私の衣の袖には風が一向に吹かない

③ 夢のなかにでさえ神は姿を現さず、衣の袖から風を吹かせてくれることもない

④ 夢のなかに姿の見えない神が現れて、衣の袖から風を吹かせるという

⑤ 夢のなかで神の姿を見たおかげで、私の衣の袖に強く風が吹いている